

# 35 地域生活を支える駅周辺のまちづくり

## (1) まちの拠点機能を向上させる

### ●駅周辺地区の整備

区内の駅周辺では、交通広場やアクセス道路などの整備が必ずしも十分ではない状況がある。また、利便性や安全性を高め、商業活動の活性化を図る必要がある。

このため、区内の各駅周辺を中心核、地域拠点、生活拠点と位置付け、交通広場や道路の整備を進める。更に、便利でにぎわいのある商業環境などの生活利便性を向上させるなど、まちの拠点としての整備を進めている。

### ●練馬駅周辺整備

練馬駅周辺は、区役所を始め、警察署、消防署などの行政機関や、郵便局、練馬文化センター、練馬図書館、生涯学習センターなどの公共施設が集まっている。また、業務施設、商業施設の集積度も高い。しかし、道路や駅前広場など都市基盤の整備が遅れていたため、交通混雑を引き起こし、商店街の活性化や発展にも弊害をもたらしていた。

そこで区では、駅周辺を中心核と位置付け、道路や駅前広場を始めとした都市基盤の整備を進めるとともに、2年度には「練馬駅周辺地区街づくり構想」を作成（5年度に一部修正）し、この構想に基づいてまちづくりを推進している。

駅北口地区においては、区として初めて都市計画決

定した区画街路1・2号線が5年3月に完成した。また、駅北口公共駐車場は7年7月に、北口交通広場やペDESTリアンデッキ(橋のような歩行者専用通路)は、西武池袋線の高架化に併せて15年3月に完成した。

駅北口の練馬一丁目地内では、道路の拡幅整備に併せてまちづくりの実現を図るため、「練馬駅北口地区地区計画」を21年6月に都市計画決定した。

駅南口地区においては、区画街路3号線が7年2月に、区役所前立体区道(やすらぎ歩道橋)が9年6月に完成した。

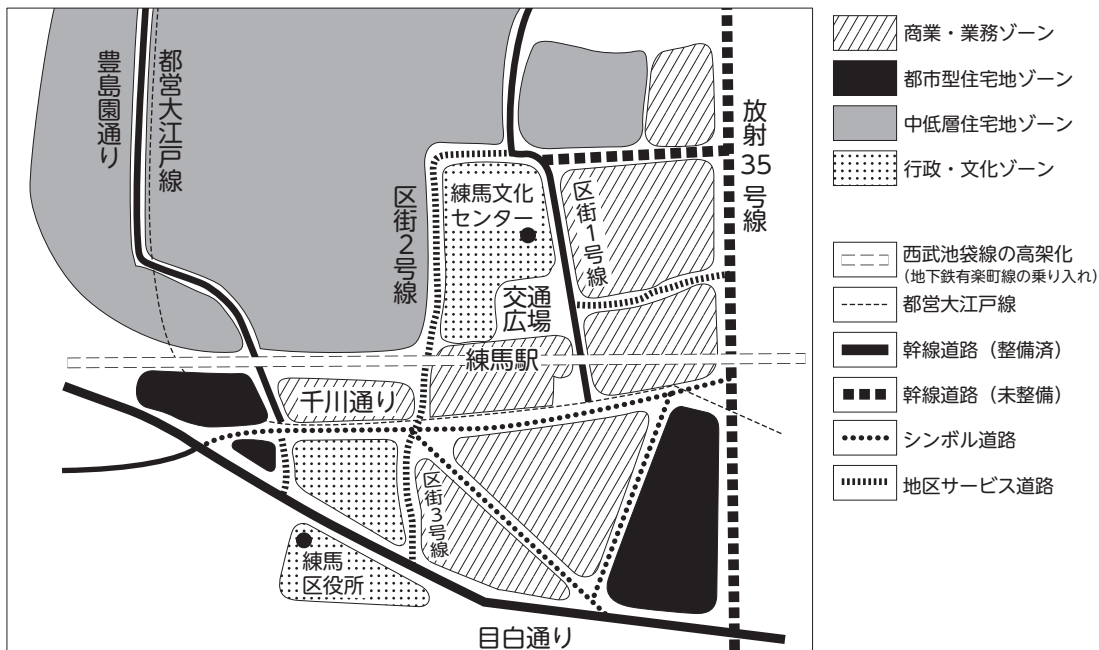
豊玉北五丁目地区においては、区内で初めて「街並み誘導型地区計画」を活用した「練馬駅南口地区地区計画」を、16年12月に都市計画決定した。また、道路の無電柱化が23年3月に完成した。

### ●石神井公園駅周辺整備

石神井公園駅周辺は、公共機関や商店が多く、周辺住宅地域を含めた地域の中心的役割を果たしている。また、都立石神井公園の玄関口でもあり、地区外からの来訪者も少なくない。

このような状況にもかかわらず、駅に通じる道路は狭く、駅前広場や道路、踏切など駅周辺の交通環境の整備が十分とはいえない状況であったため、鉄道の高架化や駅前広場の整備を行い、現在、都市計画道路の整備を進めている。

## [練馬駅周辺土地利用方針]



## 1 整備の方針

区では石神井公園駅周辺地区を区西部における地域拠点の一つと位置付け、機能の向上を図るため、駅北口地区市街地再開発事業を実施してきた。

15年6月には、「石神井公園駅周辺地区まちづくり全体構想」を策定し、つぎのような整備方針に基づいて総合的なまちづくりを推進している。

- (1) 地域の交通拠点機能を高めるため、車、歩行者の利用特性に応じた駅周辺道路を整備する。  
更に、駅に集中する交通を処理、連結する「交通結節機能」と駅利用者が憩い、集い、語らう「広場機能」とを併わせ持つ駅前広場を整備する。
- (2) 西武池袋線の鉄道高架化を契機として、交通環境の改善と南北地区の一体的な土地利用の形成を図る。
- (3) 商業と住宅が調和した駅前商業地を形成するとともに、土地の高度利用を図る。

## 2 駅周辺まちづくり事業の推進

区では、「石神井公園駅周辺地区まちづくり全体構想」に基づき、まちづくり事業を推進してきた。27年3月には南口駅前広場の整備が、29年3月には西武池袋線の連続立体交差事業が完了した。

29年2月以降は、駅南口西地区で結成された準備組合と区が、検討中の市街地再開発事業について区民に報告し、意見を求めるための「検討状況報告会」を開催している。

また、30年8月以降は、補助132号線周辺地区における地区計画によるまちづくりのルールを検討する「意見交換会」を開催した。

### ●上石神井駅周辺整備

上石神井駅は急行停車駅であり、駅周辺には多くの商店が立ち並ぶなど、まちの発展の可能性を多く秘めた地域である。しかし、駅前広場がなく、歩行者や自転車、自動車などが駅に通じる狭い道路に集中するうえ、踏切遮断の影響もあり、交通渋滞などが課題となっている。

そのため、駅前広場を含む都市計画道路「外郭環状線の2（千川通り～新青梅街道間）」の整備と西武新宿線の立体化に取り組んでいる。

外郭環状線の2は、27年12月から測量を行い、30年12月には事業の認可を取得し、事業に着手した。

また、31年2月に都、関係区市および西武鉄道が西武鉄道新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）の連続立体交差化計画等について、都市計画素案等の説明会を行い、現在は都市計画決定に向けた手続きを進めている。

## 1 整備の方針

20年3月に「重点地区まちづくり計画」を策定し、

道路交通・商業・住環境・防災・ユニバーサルデザイン・景観・土地利用の7つの視点から整備方針を定めている。

## 2 まちづくり事業の推進

区では、地域住民からの提言を踏まえて、今後のまちづくりの方向性を示した「重点地区まちづくり計画」に基づき、駅へ向かう人の移動を円滑化する外郭環状線の2と鉄道、バス、タクシーの乗換えの安全性や利便性の向上を目指した駅前広場の整備に加え、駅前では、建物の共同化を支援するためのまちづくり勉強会などを開催している。

### ●生活拠点の整備

練馬駅・石神井公園駅・大泉学園駅・光が丘駅・上石神井駅を除く各駅周辺地区を生活拠点として位置付け、地域の状況に合わせて道路整備などと連動しながらまちづくりを進めている。

#### 1 江古田駅周辺地区

18年6月に「江古田駅北口地区地区計画」を、30年3月に「江古田北部地区地区計画」を都市計画決定し、災害に強く、安全で快適なまちづくりを目指している。

#### 2 中村橋駅周辺地区

17年1月に「中村橋駅南口地区地区計画」を、25年3月に「中村橋駅北口地区地区計画」を都市計画決定し、住環境の保全と活力ある市街地の形成を目指している。

#### 3 富士見台駅周辺地区

23年2月に「重点地区まちづくり計画」を策定し、密集住宅市街地整備促進事業によるまちづくりを行っている。30年12月に「富士見台駅北部地区地区計画」を都市計画決定し、31年1月には新たな防火規制の区域指定を行うなど、災害に強く、安全・快適なまちを目標に取り組んでいる。

#### 4 保谷駅周辺地区

29年2月、保谷駅周辺地区まちづくり協議会において取りまとめた「まちづくり提言書」が区に提出された。現在、課題の異なる地域に合わせた、まちづくりを進めている。

#### 5 東武練馬駅南口周辺地区

22年11月に「東武練馬駅南口周辺地区地区計画」、27年1月に「北町二丁目西部地区地区計画」を都市計画決定し、魅力ある、安全で快適なまちづくりを目指している。

#### 6 武蔵関駅周辺地区

26年5月に武蔵関駅周辺地区において「重点地区まちづくり計画」を策定し、西武新宿線の立体化にあわせて、駅前広場や都市計画道路補助230号線などの、

駅周辺のまちづくりに取り組んでいる。31年2月に都、関係区市および西武鉄道が、西武鉄道新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）の連続立体交差化計画および駅前広場計画等について、都市計画素案説明会を行い、現在は都市計画決定に向けた手続きを進めている。

## 7 上井草駅周辺地区

26年11月に上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）において「重点地区まちづくり計画」を策定し、西武新宿線の立体化にあわせ、計画の実現に向けた取組を行っている。